

令和7年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
国語	・日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使う力 ・日常生活における人のかかわりの中で伝え合う力及び、思考力や想像力	本校における全国学力・学習状況調査 平均正答率 71.0% ・課題に正対して自分の考えを人に伝えるようにまとめること。 ・相手の話を最後まで聞き、理解する力、受け止める態度の育成。 ・筋道立てて考える力や言葉を通して、登場人物の気持ちを想像したり筆者の主張を理解したりすること。	・主体的に考えを深める力を育むため、学習の目標や展開を明確に示し、発問や対話を通じて思考を促す。 ・書く活動や、発表・スピーチ等の機会を増やすなど、自分の考えを表現する多様な活動を取り入れる。 ・音読や語彙に関する学習を継続的に取り入れ、言葉に対する理解を深めさせ、読むことや書くことの力に生かす。
社会	・教科書資料や図書館資料を活用し、学習問題を解決するために様々な資料から情報を適切に調べ、まとめる力 ・情報を画用紙やパワーポイントなど、様々な方法で目的に合わせてまとめる力 ・社会的事象の特色や相互の関連、意味を「自分事」として捉え、これからの自分の生活に生かそうとする力	・学習活動の中で、様々な資料を活用して自らすすんで調べたりまとめたりすること。 ・自ら疑問をもち、学習問題や学習計画をたて、見通しをもって解決しようとする事。 ・社会的事象を自分事として捉え、自らの生活に生かしたりこれからの社会の発展に貢献しようしたりする態度を育み、未来社会を育成する力を育てること。	・学習計画を立て、自由進度学習ですすめていくことで児童が関心の高いものから調べられるようにし、より意欲的に活動ができるようにする。 ・単元の導入時、児童が自ら疑問もったり、関心を高めたりできるように、資料の精選や発問等を研鑽していく。 ・社会的事象について学んだことで、自分たちには何ができるのか、これから何が大切なのか、児童が「自分事」として考えるきっかけとなる問いを教師が意図的に発する。

令和7年度 授業改善推進プラン

算数	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価等の結果に基づく課題		資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
	・筋道立てて考察する力 ・統合的・発展的に考察する力	本校における全国学力・学習状況調査 平均正答率 69% ・既習事項をもとに筋道立てて考えたり説明したりすること。(校内研究の授業観察より) ・問題の条件に沿って抜け落ちなく筋道立てて考えを説明すること。(全国学力・学習状況調査より)		・計算の意味理解を図る学習や図形の性質を活用して作図する学習などを行い、その過程で活用した既習事項を振り返り価値付けるような授業を行っていく。 ・答えを出して終わりにするのではなく、なぜその答えに至ったのかを振り返らせ、問題の条件と照らし合わせながら考えたり、既習事項をもとに筋道を立てて考えたことを言葉・図・式で表現させたりする。

理科	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題		資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
	・自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能 ・見方・考え方を働かせた問題解決の力	本校における全国学力・学習状況調査 平均正答率 58% ・差異点や共通点を基に新たな問題を見だし、表現すること。 ・実験の方法を発想し、表現すること。		・単元の導入で事象提示を行い、一人一人が気づきや疑問を表現することで、問いを見いだすことができるようにする。 ・問題に対して根拠のある予想や仮説を発想することで、実験の方法を考えやすくなるようにするとともに、児童の考えた方法を実験の実践に取り入れるようにする。

生活科	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題		資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
	・具体的な活動や体験、他学年や地域の人との交流を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにする資質・能力	・自然との関わりや生活体験が少ない。 ・自分と地域との関わりに気付いている児童が少ない。 ・気付いたことを表現して伝えることが難しい。		・児童の思いや願いを基にした授業づくりを行う。 ・校庭や公園等の自然に親しんだり、季節ごとの変化を感じたりできるような指導計画を立て、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に児童自ら気付けるようにする。 ・試行錯誤して活動の楽しさや満足感、成就感などの手応えを感じられ

令和7年度 授業改善推進プラン

			るような学習環境を整える。 ・国語科との連携を図り、観察カードの書き方を指導する。
--	--	--	--

音楽	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・主体的・協働的に音楽活動に取り組み、音楽的な見方・考え方を働かせながら思いや意図をもって表現を追求したり、曲や演奏のよさを見だし、音楽を味わったりする資質・能力	・学習課題に前向きに取り組み、友達と協力しながら学ぶ活動に意欲的な児童が多い。 ・思いや意図をもって表現を工夫し、さらによりよい表現を追求していく態度、聴き取ったことと感じ取ったことを関わらせて言葉で表したり、友達と伝え合ったりすることに課題がある。	・一人で、友達と、先生と学習する等、学習方法を選択し、自分のペースで活動できるようにする。 ・即興的に表現する活動を取り入れたら、ICTを活用したりして様々な発想を得られるようにし、友達と協働しながらよりよい表現を追求する学習を行う。 ・ICTを活用し、友達の意見を参考にできるようにすることで、自分の考えを広げて言葉で表すことができるようにする。

図工	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・知識や技能、既習事項、自分のイメージなどをもとに、どのように表すのか試行錯誤をしながら取り組む資質、能力。（思考力、判断力、表現力）	・90%以上が、図工が好き、図工が分かる、安心して表現できるなど回答をしているが、その意欲や思いを、試行錯誤につなげることに個人差が大きい。	・複線型の学習を取り入れることで、それぞれが自分の学びを自分でつくる態度を育てる。 ・ICTを活用し、振り返りと導入を見直すことで、児童が活動の見通しをもち、自分のイメージを明確にしながらか取り組めるようにする。

令和7年度 授業改善推進プラン

家庭	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・実践的・体験的な活動を重視した学習を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力	・実践や活動には意欲的に取り組むが、知識や技能の習得に個人差がある。 ・身に付けた知識や技能を、日常生活に生かしたり、SDGs を意識した生活を身に付けたりすること。	・身に付けさせたい資質や能力を明確にし、児童が知識や技能に価値を感じながら習得できるような学習活動の充実を図る。(ソーイングの授業などを進度別にグループを分けて実施することで、遅れの出ている児童を素早く見つけ、手厚く支援できるようにする。) ・家庭生活を大切にし、習得した知識や技能を使って日常生活の課題を解決したり、生活をよりよくしようと工夫したりする態度を養う学習活動の充実を図る。(例:新聞紙を使った窓拭きなど、单元ごとに身近なSDGs の作業を取り入れる。)

体育	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、児童一人一人が生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育む。	・「体育の授業は楽しいと思いますか。」という項目は、全学年で肯定的な評価が90%を超えている。 ・「運動やスポーツをどのくらいしていますか。(学校の体育の授業をのぞきます。)」の項目では、「しない」や、「月に1～3回」と回答している児童の割合が、5、6年生になるにつれて高くなり、運動に進んで取り組む児童とそうでない児童の二極化が見られる。 体力調査の結果から、D・E評価の児童が、男女ともに20%を超えており、基礎的な体力向上を図る必要がある。	・全ての児童が運動や遊びにおける楽しさや喜びを味わうことができるような場の工夫や学習過程の設定をする。 ・OJT で体育学習について若手教諭を中心に、教員全体が学ぶ時間を設定していく。 ・自己の適性等に応じた「する・みる・知る・支える」の多様な関わり方を身に付けさせるために、ただ運動をするだけでなく、運動をしていく中で他者との関わりを充実させた体育授業の展開をする。 ・課題の発見とその解決に向けた学習過程を通して、「知識及び技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」を高めて

令和7年度 授業改善推進プラン

			いく。
--	--	--	-----

国際	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・外国語の音声や表現に慣れ親しみ、身近で簡単な事柄について目的や状況に応じて、外国語を用いてコミュニケーションを図る能力 ・発達段階に応じて、自国や他国の伝統や文化等について学ぼうとする態度	・個人の能力の差が、学年が上がるにつれて顕著になってくること。 ・コミュニケーションに苦手意識があったり、抵抗感があったりする児童への支援が難しいこと。	・身近な事柄に関わる単語や表現を、多く取り入れたチャンツを使用し、楽しみながら外国語の学習や文化を知る学習を設定する。 ・NT と連携して授業内容の充実を図る。(フォニックスの書き取り・振り返りシート等) ・4技能のコミュニケーションスキルを高めるために、ICT を活用しながら会話をしたり発表したりとバランスよく学習場面を設定する。 ・学習時間に限らず、日常的に外国語活動に取り組む機会を設け(スタートカード、コミュニケーションすごろく)、自分の考えや理由を相手に話して伝えられる能力の育成を図れるように工夫する。

道徳	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・道徳的判断力(それぞれの場面において善悪を判断する能力) ・道徳的实践意欲と態度(道徳的判断力や道徳的心情を基盤とし道徳的価値を実現しようとする意志の働き、道徳的態度は、そ	・友達の考え方や議論から、多面的・多角的な見方へと発展させること。 ・道徳的価値について、大切だということを頭では分かっているが、実生活の中で実践することが難しいこと。	・問題解決的な学習を取り入れたリ、一斉指導による学習だけでなく、ペアや少人数グループや、討論形式など、学習形態を工夫して話し合い活動に取り組んだりすることで、物事を多面的・多角的に捉えられるようにする。 ・より自分たちの生活に即した題材

令和7年度 授業改善推進プラン

れらに裏付けられた具体的な道徳的行為への身構え)		を設定したり、登場人物になりきった役割演技などの学習を取り入れたりする。 ・全教育活動を通して、児童一人一人が道徳的实践力を高められるように、学年の教科担当を中心に、教材研究を行うとともに、道徳授業地区公開講座などで実践した内容を引き継げるようにする。
--------------------------	--	---

特別活動	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・集団や自己の生活・人間関係の課題を見出し、解決するために話し合い、合意形成、意思決定する力 ・様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、生活および人間関係をよりよく形成する力	・学級会等の話し合い活動の中で、建設的な話し合いをし、合意形成を図ること。 ・目的に沿った主体的な取り組みや自己実現に向けた行動力。	・よりよい生活を築くために計画的に学級会等の合意形成をする活動や自分たちでルールをつくって守る活動などを一層重視する。 ・自らよりよい学級生活の実現に取り組む意欲を育むとともに、集団の一員としての自覚や責任感を高め、勤労を重視する観点から係活動とともに、日常の清掃などの当番活動も計画的に指導できるようにする。 ・委員会活動、行事の取り組みにおいて、発表の場を確保する。教員側が計画的に指導に当たり、児童の自主性を尊重し、よりよい学校のために自分ができることという視点で自己実現できる活動の支援をする。活動グループを縦割り、少人数にして活動内容を分けたり、役割分担をしたりする。

令和7年度 授業改善推進プラン

総合的な学習の時間	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・探究的な学習の過程における、課題の解決に必要な知識・技能 ・実社会や実生活の中で自ら問いを見だし、課題を立て、情報を集め、整理・分析した上でまとめ、表現する力 ・探究的な学習に主体的・協働的に取り組み、互いのよさを生かしながら積極的に社会に参画しようとする態度を育み、互いのよさを生かしながら積極的に社会に参画しようとする態度	・発達段階における児童の実態を踏まえ、地域の実情を考慮したうえで、児童が主体的に追究したいと思えるようなテーマを設定すること。 ・課題を自分事として捉え、解決に向けて主体的に取り組むこと。 ・学習の成果を社会参画につなげること。	・「総合的な学習の時間」の意義や取り組み方について年度の初めに指導し、自分たちで学びを創れることに対して児童が期待をもてるようにする。 ・児童が主体的にPDCAサイクルを回しながら学習を進めていくことができるようにするために、学習の手引きを作成・活用する。 ・近隣施設の活用、地域の方へのインタビュー、区役所の方への協力要請など、身近な地域社会との接点を学習計画の中に意図的に盛り込み、社会参画に向けての児童の意欲を高められるようにする。